

代表的な工夫例を具体的に紹介します。

※ 色弱者の見え方はシミュレーションツールによるものです。
すべての色弱者がこのように見えているわけではありません。

事例 2 色の組合せ

- 1 暖色(赤～緑)と寒色(緑～青)を対比させる
- 2 明度差をつける
- 3 彩度の低い色同士の組合せを避けることを心がけましょう。



明度は対比しているが、暖色又は寒色系同士



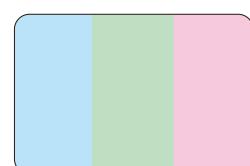
黄色 オレンジ

暖色寒色は対比しているが、明度が近い



青 赤

彩度の低いパステル調だけ



空色 薄緑 ピンク

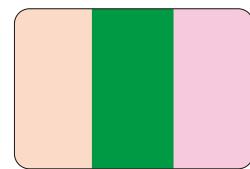


明度も対比、暖色寒色も対比



青 黄色

はっきりとした色とパステル調を対比

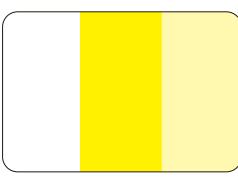


薄オレンジ 緑 ピンク

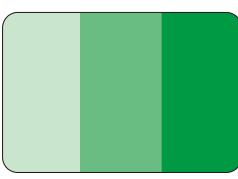


〈その他の工夫例〉

- 同じ色相で明度や彩度を変化させて濃淡をつける方法もあります。



白 黄色 クリーム色



緑の濃淡

X 悪い例



O 良い例

〈例外〉文字に白や黒で縁を
つけた場合



●カラーユニバーサルデザインと色の見え方シミュレーションツール

人間の多様な色の見え方に配慮し、より多くの人に利用しやすいデザインにした製品や施設・建築物、環境、サービス、情報を提供する考え方を「カラーユニバーサルデザイン」といいます。

カラーユニバーサルデザインの必要性を理解できるよう、色の見分けにくさを体験できるソフトウェア、スマホアプリ、メガネなどがあり、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構のウェブページで紹介しています。

注意!

シミュレーションツールは色の見え方そのものではなく、どの色とどの色が似て見えるかを疑似体験するものです。

URL: https://www2.cudo.jp/wp/?page_id=90

特長

① 様々な色覚の人に見分けやすいこと

一般的な色覚の人だけでなく、色の感じ方が異なる色弱やロービジョンの人にも違いが見分けやすいうように色を選びました。赤と緑、ピンクと空色など、色弱やロービジョンの人には見分けにくいが一般に使用されることが多い組み合わせを、なるべく見分けやすくするように色あいを微調整しています。

② 色名を想起しやすいこと

赤やピンクなどの「色名」を使ってコミュニケーションできるように、日常的に使われる色名で表現しやすい色を選びました。

③ 塗装・印刷・画面でそれぞれ再現可能で、かつ同じような色に感じられること

塗装や印刷、デジタル機器の画面では、再現可能な色の範囲が異なります。本配色セットの色は、それぞれの媒体で実際に再現可能な範囲から選定しました。また、同じ案内やサインを異なる媒体で表示しても同じような色に感じられるように微調整しました。

④ 実用的で分かりやすい方法で色を指定できること

デザインの現場で、塗装・印刷・画面の色指定に一般的に使われている方法で数値を指定しました。

✖ 見分けにくい組み合わせ

アクセントカラー	塗装	印刷	画面
紫	茶色	×	×
紫	青	×	△
ピンク	オレンジ	×	△
ピンク	緑	△	×
赤	オレンジ	△	△
赤	紫	△	
赤	茶色		△
代替緑	ピンク	×	/

ベースカラー	塗装	印刷	画面
明るいピンク	明るい緑	×	×
明るいピンク	ベージュ	×	△
明るいピンク	明るい黄緑	△	
ベージュ	明るい黄緑	×	△
ベージュ	明るい緑	×	△
ベージュ	クリーム	×	
明るい紫	明るい緑	×	△
明るい紫	明るい空色	×	×
明るい紫	明るい黄緑	△	△
明るい黄緑	クリーム		△
明るい黄緑	明るい空色		△

アクセントカラー×ベースカラー	塗装	印刷	画面
黄色	明るい黄緑	×	×
空色	明るい紫	×	×
空色	明るい緑	△	△
ピンク	明るい緑	×	×
ピンク	ベージュ	×	△
オレンジ	明るい黄緑	△	
代替黄	明るい黄緑	△	/

※色弱やロービジョンの人が一般的に間違えやすい色の組み合わせではありません。

:やや見分けにくい組み合わせ
✖:見分けにくい組み合わせ
/:塗装用以外は該当なし

無彩色×アクセントカラー・ベースカラー	塗装	印刷	画面
白	クリーム	×	×
白	代替黄	×	△
白	黄色	△	△
明るいグレー	明るい空色	×	△
明るいグレー	明るい紫	×	△
明るいグレー	明るい黄緑	×	△
明るいグレー	明るいピンク	△	△
明るいグレー	明るい緑	△	
明るいグレー	黄色	△	×
グレー	緑	×	×
グレー	紫	×	△
グレー	茶色	×	△
グレー	青	×	△
グレー	ピンク	△	△
グレー	明るい紫	△	△
グレー	代替緑	△	/
黒	茶色	×	×
黒	紫	△	△

同系色濃淡	塗装	印刷	画面
赤	ピンク	△	×
ピンク	明るいピンク	×	△
オレンジ	ベージュ	×	×
黄色	クリーム	×	×
緑	明るい緑	×	×
空色	明るい空色	×	×
白	明るいグレー	△	△
黒	グレー	△	△
代替緑	明るい緑	×	
代替黄	クリーム	△	

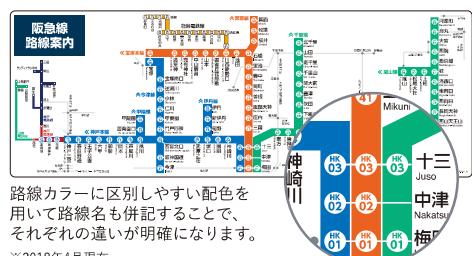
推奨配色セット使用例

塗装例 案内サイン



見分けやすい配色により、情報の違いを直感的に理解でき、スムーズな移動が可能になります。

印刷例 路線案内図 (阪急電鉄株式会社／大平印刷株式会社)



路線カラーに区別しやすい配色を用いて路線名も併記することで、それぞれの違いが明確になります。
※2018年4月現在

画面例 ナースコール (ケアコム株式会社)



区別しやすい色のポップアップ表示により、ナースステーションで情報の違いが瞬時に把握できます。